

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「初年次教育におけるキャリア教育の一環として導入した参加型授業の実践とその教育効果の検証」に関する研究実施のお知らせについて

福岡学園では、歯科医師、看護師、保健師、歯科衛生士など医療従事者を養成し、全人的な医療専門職の育成に力を入れています。

医療専門職の育成において、特に初年次におけるキャリア教育は重要であり、一人一人の社会的・職業的自立に向けた、目指す将来像や進路の選択、そして必要な基盤となる能力や態度を育てることが大切となります。そして学生時代に、多くの知識の習得や多様な経験を通して、医療専門職としての価値観が形成されてきます。そのような初年次のキャリア教育の実践研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。

1. 研究の対象となる方の条件

2024年に福岡歯科大学口腔歯学部にて在学する1年生が対象です。目標症例数は85例です。6月17日の講義「現代文明論」の最後にMicrosoft Formsを利用した授業評価アンケートを無記名にて実施しました。

この研究においては上記アンケートの結果を分析に用いますが、個人を容易に識別できる情報（氏名、生年月日など）は、入手しておりません。従って、皆様の個人情報が漏洩する可能性はありません。

何かお尋ねしたいことがある場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。また、無記名アンケートのため、分析データから特定の方の情報を削除できませんが、どうぞご理解ください。

2. 研究の目的や意義について

初年次のキャリア教育の一環として開講した「現代文明論」において、行政に勤務する歯科医を外部講師として招き、参加型授業形態の講義を実施しました。

今回の講義を担当した外部講師は、行政に勤務する歯科医で、全歯科医師の中でわずか0.3%の存在であり、その行政歯科医による希少性のある講義によって、行政における歯科医師の役割や業務、歯科衛生行政について理解を深め、キャリア選択の一つとして

提示を行うことは、社会的意義が高く、さらに参加型授業の導入による教育効果を検証することは、学術的意義が高いと考えております。

3. 研究の方法について

アンケートは回収後、回答状況等を統計分析ソフトを用いて集計を行います。取得する情報は、アンケート項目への回答状況だけで、個人を直ちに識別できる項目は含まれていません。

4. 試料・情報の利用予定日について

この研究において研究対象者から得られた試料・情報を研究のために利用を開始するのは、2024年9月1日から予定されています。

また予定されている研究期間は、2027年3月31日までですので、この試料・情報がその期日を過ぎて利用される予定はありません。

5. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた試料・情報の管理責任者は、学校法人福岡学園の理事長・水田祥代です。

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学口腔保健学講座口腔健康科学分野において同分野教授の谷口奈央の管理の下、10年間保存した後、廃棄します。

6. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に関して、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

7. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 口腔保健学講座 口腔健康科学分野 社会歯科学分野
研究責任者	福岡歯科大学 口腔保健学講座 口腔健康科学分野 教授 谷口奈央

共同研究機関	福岡市 (市長 高島 宗一郎) ／保健医療局健康医療部口腔保健支援センター・ 係長 新井優花
--------	--

8. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 口腔保健学講座 社会歯科学分野 准教授 島津 篤 連絡先：〔TEL〕 092-801-0425 (内線 1130) 〔FAX〕 092-801-0616 メールアドレス：shimazu@fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2022年7月30日 最終修正日：8月6日)